

パレットスケール 2000kg

取扱説明書

【品番】 HPS-1

この度は、KIKAIYA「パレットスケール 2000kg」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく安全にご使用ください。

* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(T E L) 084-982-5884

(F A X) 084-982-5886

(MAIL) info@kikaiya.com MADE IN CHINA

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください

■仕様

本体重量	115kg	
能力	2000kg	
計量器	電源	単3乾電池×4本
	ひょう量	2000kg
	目量	1kg
	誤差	±1%

全長	1550mm	
フォーク長さ	1150mm	
フォーク全幅	685mm	
フォーク爪幅	180mm	
フォーク間	325mm	
フォーク最高/最低高さ	195/80mm	
前後ローラー間有効寸法	885mm	
爪の付根から前輪(内)までの有効寸法	765~835mm	
車輪 (ウレタン巻き)	ステアリングローラー	φ170mm
	ダブルフォークローラー	φ69mm

■注意事項

- ハンドパレットを使う人は要領を熟知した人のみ作業してください。
- 通常荷物を乗せて移動する時はコントロールレバーをニュートラルにしてください。
 - ✓ ハンドルに余分な力がかからずスムーズな作業が行えます。
 - ✓ ピストンロッドに負担がかからずシャフトシールの寿命を延ばします。
- ハンドパレットのフォークや車輪・ジャッキ部・コントロールレバーなどに異常がないかよく確認してから使用してください。異常が有る状態で使用を続けると思わぬ事故が起こる危険があります。
- ハンドパレットはスロープの上で使わないでください。
- ハンドパレットを水平でない場所に置くと勝手に動き出す可能性があります。人や物にあたって大変危険ですので注意してください。
- ハンドパレットに人を乗せて移動させないでください。
- 作業者は必ず安全靴や手袋・適切な作業着を着用してから作業してください。
- 荷物を移動させる時には回りに人を近づけないでください。
- 荷物を乗せる時はバランスと重心をよく考えて乗せてください。
- 能力以上の荷物を乗せないでください、故障の原因になります。
- 段差を乗り越える時は荷崩れなどに注意してください。
- 清潔で湿気のない場所で保管してください。



防水仕様ではございません！雨の中での使用しないでください。

■使用方法(ハンドパレット)

【コントロールレバー】

位置	名称	動作
上	LOWER	フォークを下げる時
中	NEUTRAL GEAR	フォークを固定する時
下	ASCENT	フォークを上げる時

【上昇時】

1. コントロールレバーを下(ASCENT)に押し下げます。
2. ハンドルをポンピングするとフォークは少しずつ上昇します。

【下降時】

1. コントロールレバーを上(LOWER)に引き上げます。
2. 油圧が抜けてフォークが下に下がります。
3. レバーを少しだけ握るとゆっくりと下がります。

【荷物の移動】

1. コントロールレバーを中(NEUTRAL GEAR)に押し下げます。
- ※ 荷物を移動させる時はフォーク全体に荷重を受ける様セットしてください。
 - ※ 一点で大きな荷重を受けるとフォークが曲がったり、変形する可能性があります。
 - ※ 使い終わったら荷物をフォークに載せたままにしないでください。



■使用方法(計量器)

※必ず平坦な強固な土間で測定を行ってください。

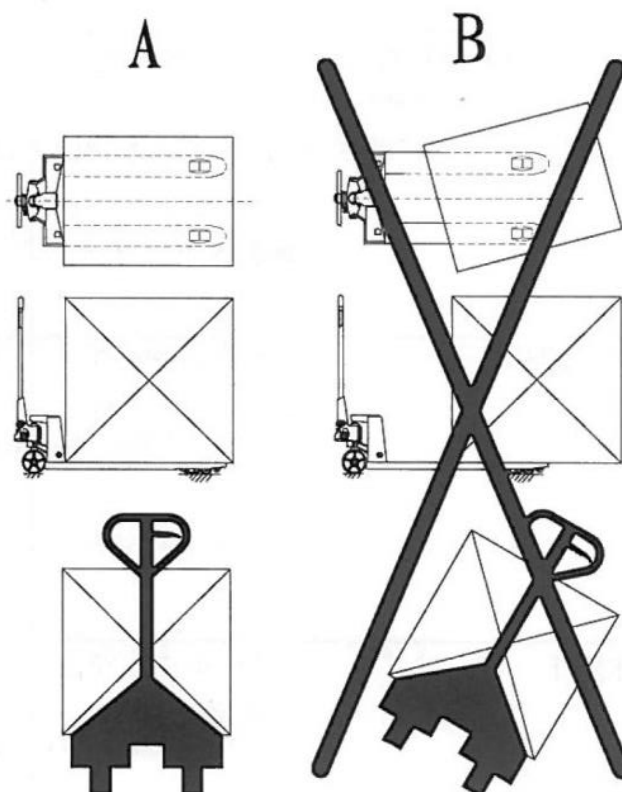
【単位の切り替え】

測定単位は(kg)(lb)から選択できます。

右ボタン ① を押すと、選択した単位がディスプレイに表示されます。

【自動OFF機能】

電源を入れ 3 分間操作が行われない場合、バッテリー節約のため、計量器は自動でOFFとなります。



【操作方法】

1. 測定したいパレットにフォーク差し込みます。
2. コントロールレバーを一番上の位置 (LOWER) に止め、フォークを一番下に下げます。
3. 計量器のカバーを開け、右のボタン ① を押し計量器の電源を入れます。
4. 中央のボタン $\rightarrow 0 \leftarrow$ を押し、ディスプレイが(0)になった事を確認します。
5. コントロールレバーを (ASCENT) に止め、ハンドルをポンピングして荷を持ち上げます。
6. 荷が安定したら、測定重量がディスプレイに表示されます。パレットの重量も入った総重量となります。
7. フォークを下げ、右のボタン ① を長押しするとディスプレイに (OFF) と表示され電源が切れます。

【風袋引き】※パレットの重量を引いた荷のみの重量を計量します

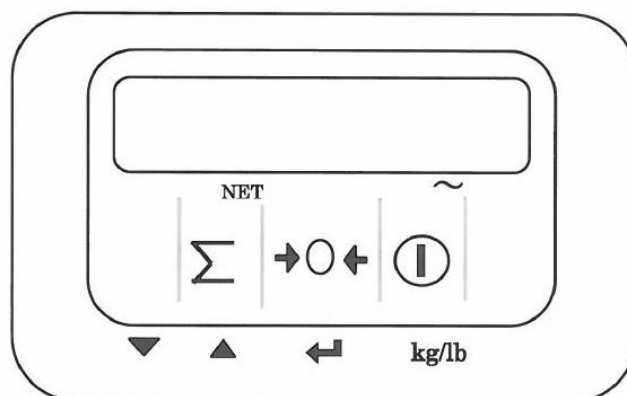
1. 荷の乗っていないパレットの測定を行います。
2. 荷が安定し、測定重量がディスプレイに表示されたら中央のボタン $\rightarrow 0 \leftarrow$ を押します。
3. 測定重量が(0)と表示されます。
4. フォークを下げると、ディスプレイにはパレット重量がマイナスで表示されます。
5. パレットに荷を乗せ再度測定を行います。
6. ディスプレイに表示されている測定重量は、パレット重量を差し引いた荷の重量となります。
7. 電源をOFFすると、風袋引きはリセットされます。

【累積重量の測定】※複数個の荷の重量を累積して測定できます。

1. 荷の測定を行い、左のボタン Σ を押します。
2. ディスプレイに(測定回数)と測定重量が表示されたらフォークを下げます。
3. 次の荷の測定を行い、左のボタン Σ を押します。
4. ディスプレイに(測定回数)と累積重量が表示されます。数回点滅後、測定重量が表示されます。
5. 累積重量の測定をリセットする場合は、フォークを降ろし、左ボタン Σ を長押ししてください。
6. ディスプレイに(--00--)と表示されればリセット完了です。

※電源OFFではリセットされません。

※各測定重量は後からの確認は出来ません。



■トラブルシューティング(ハンドパレット)

症状	問題	解決方法
■ フォークが最高位まで上昇しない	● 作動油の不足	✓ 作動油の補充をする
■ フォークが上昇しない ■ 上昇しても下がる	● 作動油に不純物が混入している ● 作動油の不足	✓ 作動油の交換・補充をする
	● チェックバルブ/リリースバルブの不良	✓ チェックバルブ・リリースバルブを分解清掃する
	● コントロールレバーの位置が悪い	✓ コントロールレバー/リリースバルブを調整する
	● エアーを噛んでいる	✓ エアー抜きをする
■ フォークが下がらない	● フォークの変形や曲がりがある	✓ 修理をする
	● 偏荷重・重量オーバー	✓ 偏荷重を直す
	● コントロールレバーの位置が悪い	✓ コントロールレバーの位置を調整する
■ オイル漏れ	● オイルシール/その他パーツの不良	✓ 交換する
■ 自然降下	● リリーフバルブ/チェック弁の不良	✓ リリーフバルブ/チェック弁を分解清掃する
	● エアーを噛んでいる	✓ エアー抜きをする
	● シリンダーパッキンの不良	✓ パッキンを交換する

■トラブルシューティング(計量器)

症状	問題	解決方法
■ (HELP1)とディスプレイに表示される	● 重量オーバー	✓ すぐにフォークを下げる
■ 正しく計量しない	● フォークが正しく上がっていない ● 水平でない土間で使用している	✓ 平坦な場所で、フォークを正常に上げる
	● ロードセルの故障	✓ ロードセルの交換
	● 表示が安定しない	✓ 電源の入れ直し ✓ ゼロボタンの確認
■ 電源が入らない	● 電池切れ	✓ 電池交換
	● 電池の向きが違う	✓ バッテリーカバーを開け、電池の向きを正しく入れる

■エア一抜き



- ※ パレットトラックを輸送したり、分解した時はジャッキにエア一を噛む事があります
- ※ エア一を抜く場合は次の要領を行ってください

1. コントロールレバーは下降にした状態のままでハンドルを 10 回程ポンプアップします。
2. 次にコントロールレバーを上昇にしてポンプアップします。
3. エア一が抜けるとフォークは上昇しますがもしも上昇しない場合は上記の方法を繰り返してください。

■メンテナンス

【オイルの点検】

- ジャッキ部の作動油の量は3ヶ月に一度点検してください。
- 不足しているならば補充してください。(ISO VG32 オイル全要領 0.4 リットル)

【日常点検】


- ハンドパレットを使う前に外観を目視で点検してください。
- オイル漏れや車輪の状態・コントロールレバー・フォークの曲がりや溶接箇所の亀裂またははがれなどが無い点検してください。
- 異常が有る場合は使用を中止して修理した上でお使いください。

【給油】

- ハンドパレットは1ヶ月に一度は給油してください。
- 車輪のベアリング・コントロールレバー・フォークの可動部などに給油します。
- 本体が水に濡れたり汚れた時は布で拭き取って水分や汚れを取り除いてきれいにして保管してください。

【計量器の電池交換】

計量器の電源は単 3 乾電池 × 4 本です。

ディスプレイに  と表示されたら電池交換を行ってください。

1. バッテリーカバーのネジを緩め、カバーを外します。
2. 4 本全ての単 3 乾電池を交換します
3. カバーをはめ、バッテリーカバーをネジで締めます